

平成31年度
事業計画書

社会福祉法人

やながせ福祉会

平成 31 年度 事業計画

やながせ福祉会

やながせ福祉会では、「いたわりと思いやり ～地域福祉の拠点として～」を法人の理念としてより充実した福祉サービスの提供に努めてきました。その様な中、「組織的な経営」への変革が必要だと考え、そのためには、自立した組織としてコンプライアンスやリスク管理や業務に関する手続きなど、業務の適切性を確保する内部管理体制の構築が必要で、具体的には、「法人本部機能の確立」「拠点管理業務の確立」を行います。

「法人本部機能の確立」については、法人全体をグループ経営の視点でとらえ、各事業ごとの役割と責任を明確にすることに努め、法人本部は、法人改革や財務管理、成長戦略策定、採用や人材管理などの課題に対応します。

「拠点の管理業務」では園長・施設長・管理者等の役職がマネジメントのできる体制をつくり、責任をもって事業所運営ができるように管理職への権限移譲を意識します。同時に業務の標準化を進め、マニュアル作成・見直しなどの仕組みづくり、職員の意識改革に取り組みます。

また、幼保連携型認定こども園、定期巡回型訪問介護看護事業の運営を軌道に乗せると共に、新規事業として、特定施設入居者生活介護事業の施設整備及び人材確保・育成に取り組みます。そのことにより、組織的な経営を確立することができ、安定した法人運営ができるものと考え、また、継続的に行うことで法人及び事業所運営の透明性が向上され、より経営基盤の強化につながると考えております。

保育事業

幼児教育無償化や教育改革等、幼児教育について世間の関心が高まる中、本園は保育所型認定こども園から今年度、幼保連携型認定こども園へ移行します。学校と保育所機能をあわせ持つ新しい施設として初心にかえり、職員ひとりひとりが改めて日々の教育・保育を見つめなおし、園児や職員が自己発揮できる環境づくりを目指していきます。

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において特に教育・保育の環境づくりが重要とされています。今年度は特に3歳未満児の子ども達の保育環境について見直し、ドキュメンテーションへの取り組みを含め、掲示板等を有効に活用していきます。また、学校薬剤師の指導の基、安全、衛生計画を作成し、食育への取り組みとして、3歳以上児の主食の提供を始めます。

人材不足や働き方改革等世間で話題となる中、今年度より勤務体系を1年間から1か月の変形労働制のシフトに変え、業務の効率化を図ります。

職員に施設内外の研修への参加を促し、各専門分野についての理解を深めていきます。習得した知識を講師となって園内研修をおこなったり、委員会活動等で活用したりすることで、互いに話す機会を持ち、得意分野の発見や職員間の連帯意識へとつなげていきます。

平成 30 年度は、「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止」「多様な人材の確保と生産性の向上」「介護サービスの適正化」という 4 つの基本的な考え方を軸に、介護報酬が改定され、全体では 0.54% の増額となりましたが、事業によっては、大変厳しい改定となりました。

こうした中、老人・介護保険事業では、地域で支え合う体制づくりの中心的な役割として福祉サービス、介護保険サービス等を実施し、元気な高齢者から要支援者、要介護者へとサービスがとぎれないように、引き続き勝原ホーム、第二ホーム、大津ホームを拠点としニーズの多様化に的確に対応致します。

人材の育成対策では、介護サービスを提供するにあたり、不可欠な要素として「接遇」があります。接遇とは対人関係において必要な技術であり、人とふれあいもてなす事を意味し、接遇によるホスピタリティ（もてなす気持ち）が何より大切となり、「接遇」に取り組んでいきます。

また、職員研修においては、昨年は法人全体で研修計画を作成し、介護職員向け研修、看護師向け研修、生活相談員向け研修といったプログラムを計画し、パート職員から正職員すべての職員に至るまで、研修を受ける機会を設け、同じ方向を目指しながら業務を行う体制づくりを行いました。今年度は、管理職がマネジメントの出来る体制を構築するために、リーダー研修を実施します。

建物の維持管理として、姫路・勝原ホーム短期入所生活介護、姫路・勝原ホーム認知症対応型共同生活介護では、空調機が老朽化による故障が多発しているため、空調機の取り換工事を行います。

このような情勢の中、各事業所は次の事業計画を作成し、職員一丸となり利用者サービスの向上に努め、利用者増、収入増につなげていきます。具体的には、事業活動収支差額を対前年比 3% 増を目標に事業の推進に努めます。

1. 法人の概要

設置主体	社会福祉法人
法人の名称	やながせ福祉会
法人の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 571 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
認可日	昭和 46 年 12 月 23 日
代表者	理事長 石田徳男

2. 社会福祉事業

種別	施設又は事業の種別、名称等	管理者氏名	定員	事業開始年月日
2種	やながせ保育園 (やながせ保育園 分園)	石田由美子	185名 (30名)	昭和 47 年 4 月 1 日 (平成 25 年 4 月 1 日)
2種	大津みやび野 分園	石田由美子	30名	平成 25 年 4 月 1 日
2種	一時預かり事業	石田由美子		平成 27 年 4 月 1 日
2種	地域子育て支援拠点事業	石田由美子		平成 29 年 4 月 1 日
1種	姫路・勝原ホーム	石田文徳	50名	平成 1 年 7 月 1 日
2種	勝原デイ・サービスセンター	石田文徳	25名/日	平成 1 年 10 月 1 日
2種	姫路・勝原ホーム 短期入所生活介護	石田文徳	18名/日	平成 13 年 4 月 1 日
2種	姫路・勝原ホーム 認知症対応型共同生活介護	石田智徳	9名	平成 13 年 4 月 1 日
2種	定期巡回 かつはら	塩見優次		平成 31 年 1 月 1 日
2種	勝原第二デイサービスセンター	辻 勝彦	40名/日	平成 13 年 11 月 1 日
1種	第二姫路・勝原ホーム	藤原重樹	29名	平成 21 年 4 月 1 日
2種	第二姫路・勝原ホーム 小規模多機能型居宅介護	藤原重樹	29名 登録	平成 21 年 4 月 1 日
1種	大津みやび野ホーム	細野欣之	70名	平成 26 年 4 月 1 日
2種	大津みやび野ホーム 短期入所生活介護	細野欣之	10名/日	平成 26 年 4 月 1 日
2種	大津みやび野 デイサービスセンター (認知症)	寺尾恵子	12名/日	平成 24 年 11 月 1 日
2種	大津みやび野 デイサービスセンター	寺尾恵子	30名/日	平成 25 年 1 月 1 日

3. 公益事業

施設又は事業の種別、名称等	管理者氏名	事業開始年月日
姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所	田村千晶	平成12年4月1日
大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所	矢内ゆり	平成26年4月1日
姫路市朝日地域包括支援センター	伊森了子	平成19年4月1日
姫路市網干地域包括支援センター	戸田眞弓	平成21年4月1日
姫路市大津地域包括支援センター	丸尾美保	平成24年4月1日

5. 収益事業

施設又は事業の種別、名称等
介護職員初任者研修の開催
介護職員実務者研修の共催 (株)ニッソーネット共催)

6. 受託事業

施設又は事業の種別、名称等
高齢者世話付住宅職員派遣事業 (姫路市委託事業)
生きがいデイサービス事業 (姫路市委託事業)

7. 地域支援事業

地域社会に貢献する為次の事業を実施します。

事業名	内容
介護技術講習会の開催 (兵庫県委託事業)	要支援、要介護状態となっても、できる限り在宅で暮らせるようにするためには、介護保険内、外のサービスに加えて、家族の介護力を高めることも重要であることから、講習会を開催する。【勝原・第二・大津 各1回 計3回】
介護業務1日体験講座 の開催 (兵庫県委託事業)	特別養護老人ホームにおいて介護職員の確保が困難な状況を踏まえ、中高年層、子育てを一段落した女性、離職者等を対象に、特別養護老人ホームにおける実際の業務を1日体験する機会を提供する。【勝原・第二・大津 各1回 計3回】
地域サポート型特養 (地域見守り事業)	姫路・勝原ホームでLSAを配置することにより、24時間対応可能な体制で、認知症の人やホームヘルプ等の介護サービスのない時間帯の生活に不安を持つ高齢者の見守りを行うことにより、できるだけ長く在宅生活が送れるよう支援する。

8. 年間計画

月	行 事 内 容	内 容
5 月	・ 監事監査	・ 平成 30 年度 監事監査
6 月	・ 理事会	・ 平成 30 年度 決算 ・ 平成 30 年度 事業報告
6 月	・ 評議員会	・ 平成 30 年度 決算 ・ 平成 30 年度 事業報告
9 月	・ 理事会	・ 上半期事業報告
9 月	・ 評議員会	・ 上半期事業報告
12 月	・ 理事会	・ 定款変更
12 月	・ 評議員会	・ 定款変更
3 月	・ 理事会	・ 事業計画 ・ 予算
3 月	・ 評議委員会	・ 事業計画 ・ 予算

9. 研修計画

対 象	目 的	研 修
法人役員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸情勢の動向を踏まえ、社会福祉法人経営者が果たすべき役割と取り組むべきことを理解する。 ・ 経営の透明性向上に向けて、監事の役割や具体的な業務の進め方を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人役員研修